

第3学年2組 理科学習指導案

平成19年12月13日(木) 第5校時

授業者 教諭 小林 弘海 (T1)

教諭 小林 郁子 (T2)

1. 単元 明かりをつけよう

2. 単元の目標

乾電池に豆電球などをつなぎ、電気を通すつなぎ方や電気を通すものを調べ、見いだした問題を興味・関心を持って追究したり、ものづくりをしたりする活動を通して、電気の回路についての考えをもつことができる。

3. 本時のねらい

自作テストの回路の一部に身近にあるいろいろなものを入れて、豆電球が点灯するときとしないときを比較しながら調べ、ものには電気を通すものと通さないものがあることをとらえることができる。

4. 学習の展開

学習活動	指導と評価	
	T1	T2
<ul style="list-style-type: none"> ○前時で導線と導線の間にくぎをつなぎ、豆電球が点灯したことを確認する。 ○本時の学習活動をつかむ。 電気を通すものをみつけよう。 ○自分や友達が持ち寄った実験の材料を見せ合い、自分が実験したい材料や、友達がどんな材料を使うのか確認する。 ○実験したい材料が電気を通すか通さないか予想をたてる。 ○予想したことを自作テストで調べる実験を行い、結果を記録する。 ○グループ内で情報交換しながら、さらに調べたい材料を用いて実験する。 ○電気を通すもの・通さないものはどんなものなのか発表する。 ○実験から気づいたことや不思議に思ったことを記録カードに書く。 ○実験で、気づいたことや不思議に思ったことを発表して、次時の課題を話し合う。 ・予想される疑問…空き缶に電気を通すものと通さないものがあることなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導線と導線の間にくぎをつなぎ、豆電球が点灯することを演示する。 ○グループで集めた材料から選んで調べるようにする。 ○実験の材料の素材や品物の特徴に目を向けさせるようにする。 ○教室の中にあるものも見つけて、なるべく多く予想させる。 ○一人でうまく実験しにくいときは、友達と協力して行わせるようにする。 ○机間指導して、つなぎ方でつまずいている子に支援するとともに、つぶやきや疑問を記録する。主に T1は1～4班、T2は5～8班を見る。 ○自分の結果と比べながら聞かせる。 ○わかったことだけでなく、友達の結果と矛盾した点も書くようにさせる。 ○児童の疑問が次時の課題に発展するよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○くぎは電気を通すものであることを確認させる。 ○金属とプラスチックがくっついているものを取り上げ、どこを調べるのか確認させる。 ○調べる数が少ない児童に声掛けをして興味を持たせるようにする。 ○危険なので導線を直接コンセントには差し込んではいけないことを伝える。 ○発表内容を整理しながら板書する。 ○発表内容を整理しながら板書する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> (評)電気を通すものはどんなものかに興味をもち、進んで調べようとする。(関)【行動観察・ワークシート】 </div>		

第6学年2組 道徳学習指導案

平成19年12月13日(木) 第5校時
授業者 教諭 川崎 清美

1 主題名 みんなのために働く喜び

4-(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。

2 資料名 福井豪雨が教えてくれること

3 本時のねらい

福井豪雨で活躍したボランティアの活動を通して働く意味を考え、社会に奉仕することが多くの喜びを生み出し社会生活を支えるものであることに気付き、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。

4 準備物

水害に関する写真、ビデオ、ワークシート

5 学習の展開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導と評価
<p>○「働く」ことについての今の思いや、自分の取り組みを見つめる。</p> <p>○めあてを確認する。</p> <p>○資料をもとに話し合う。</p>	<p>○毎日の清掃活動への取り組みをもとに今「働く」ことについてどんな思いを持っているのか話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やらなければいけないこととして取り組んでいることが多い。 ・働くことは疲れるという思いがある。 <p>○今日は、水害への取り組みをもとに働くことについて見つめていきましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 働いている人はなぜ笑顔なのだろう </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 20%;"> みんなと心がつながったように感じているようだ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 20%;"> やらされているのではなく自分から進んで取り組んでいる </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 20%;"> 日頃お世話になっているという気持ちで働いているから </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> みんなのために働く </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 自分の力がみんなの役にたっているという思いから </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> みんなのために働くと 多くの喜びを生み出す 社会を支えている </div>	<p>○毎日の清掃活動への取り組みを見つめ自由に出し合う中で、価値への方向付けを行う。</p> <p>○水害が自分たちの生活に残した厳しい状況や、その中で懸命に作業に取り組む人々の姿を映像や写真で提示し、当時の様子を想起できるように工夫する。</p> <p>○働いている人の「笑顔」に着目することで、厳しい状況の中での「笑顔」に驚きと疑問を持ち、意欲的に価値追究ができるようにする。</p> <p>○一人一人の思いを自由に出し合い、共感的に聞き合う時間を保障することで、働くことが多くの喜びを生み出し社会を支えていることに気付くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (評) 自分の考えを進んで発表したり、友達の話を受容的に聞いたりして、主体的に考ようとしている。 【発言 観察】 </div> <p>○自分たちの心の中にも、支えてもらうことへの感謝の思いや、役に立ちたいという思いがあることを再認識できるようにする。</p> <p>○自分たちの力を期待してくれている地域の方の思いを知ること、実践への意欲化を図りたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (評) みんなのために進んで働こうとする心情が高まっている。 【観察 ワークシート】 </div>
<p>○水害について自分たちが感じたことを見つめる。</p> <p>○ゲストティーチャーの話聞いて思いをあたためる。</p>	<p>○自分たちは水害を体験してどんなことを感じていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの方が支えてくれてうれしかった。 ・自分も働いて辛かったけれど喜んでもらえてうれしかった。 <p>○ゲストティーチャーのお話をお聞きましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 20%;"> これからもみんなのために進んで働くことができる自分でありたい </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 20%;"> 家庭や学校の中だけでなく、地域のためにも働きたい </div> </div>	<p>○自分たちの心の中にも、支えてもらうことへの感謝の思いや、役に立ちたいという思いがあることを再認識できるようにする。</p> <p>○自分たちの力を期待してくれている地域の方の思いを知ること、実践への意欲化を図りたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (評) みんなのために進んで働こうとする心情が高まっている。 【観察 ワークシート】 </div>